



四中たより

第1号 R3.4.15 (木) 発行責任者 園中 学

進もう おおらかに
学ぼう うるわしく
励もう たくましく
TEL 31-0911

令和3年度の四中がスタートです

昨年度の今頃は、全国の学校が新型コロナウイルスの拡大防止のための臨時休業を行っていました。今のところ新型コロナの収束は見通せない状況ですが、予定どおりの今年7日(水)に新任式、2・3年生の始業式、そして入学式を無事に行うことができホッとしているところです。

今年度は、校長の私を含め16名の新任の先生方をお迎えました。新任式では、生徒会副会長の梅木さんに、ともに「四中スタンダード」を進めていこうと、あたたかい歓迎の言葉をいただきました。生徒の皆さんと一緒に、よりよい四中を創っていく決意を新たにしました。

始業式では、各学年(2年:堀さん、3年:原田さん)と生徒会(園部さん)の代表3名が「1年生の手本となり、3年生を支える」「3年生として高い意識をもって生活する」「リーダーとしての自覚をもち、活動に真剣に向き合うとともに全校で協力しよう」と堂々と新学期の抱負を発表しました。

入学式では、PTA会長の園部さんよりご臨席をいただき、139名の新入生を仲間に迎えました。新入生呼び上げでは、一人一人が元気に「ハイ!」と返事をし、中学校生活への意欲を感じ取ることができました。感染症対策のため2・3年生は式に参加できませんでしたが、生徒を代表して生徒会長の佐藤さんが歓迎の言葉を、新入生を代表して庄司さんが新入生誓いの言葉を力強く発表しました。



入学式 校長式辞より(一部抜粋) ※2・3年始業式でも同じような内容の話をしています。

では、自分の可能性を広げていくために、皆さんに中学校生活で大切にしてほしいことを二つお話しします。

一つ目は、「夢や目標を持ち計画的に取り組む」ということです。今皆さんは、これから始まる中学校生活、あるいは、自分の将来についてどんな夢や目標を描いているでしょうか。「将来こんなことをしてみたい」、「こんな人になりたい」、「中学生になったらこんなことを頑張りたい」など「夢や目標をもつ」ことが自分の可能性を広げていくスタートとなります。でも、ただ単に「こうなりたい」「こうしたい」と思っているだけでは、何も変わってはいきません。思い描いた夢や目標を現実のものにするためには、「いつまでできるようにしよう」、「そのために今日は何をしよう」、「どのくらいの時間が必要かな」など、具体的に先の見通しをもち、計画をたて取り組んでいくことが大切になります。

二つ目は「仲間を大切にする」ということです。今日から、七つの小学校から集った仲間と一緒に生活が始まります。仲間はとても心強い存在です。先ほど話をしたように、目標をもって計画的に頑張っている、うまくいかないことは少なからずあります。そんな時に支えになるのは、やっぱり仲間です。日常のかかわりの中で、お互いの良いところも、悪いところも全部理解し合いながら、「楽しいこと」「うれしいこと」「悲しいこと」「悔しいこと」など、心を開いて、どんなことでも、誰とも話し合える間柄を築いてほしいと思います。

新入生の皆さん、中学校の三年間は、あっという間に過ぎていきます。是非、「夢や目標を持ち計画的に取り組む」こと、「仲間を大切にする」ことを心にとめ、これから始まる中学校生活を充実させてください。結果が出るまであきらめずに、粘り強く努力を重ねていきましょう。そして、人は、がんばる人を応援してくれます。きっと、夢や目標に向かってがんばる皆さんの姿を見て、教職員も、先輩も、保護者や地域の皆さんも応援してくれるはずですよ。



先輩が四中を紹介

今月9日（金）には、新入生に中学校生活の見通しをもってもらえるように「新入生歓迎会」を行いました。生徒会役員がスライドを準備し



ながら、四中の生徒会活動の内容（生徒会執行部と各委員長）を丁寧に説明しました。また、各部活動の代表



生徒が日々の部活動の取り組みを1分間にまとめ、活動の紹介とパフォーマンスを披露しました。どの部活動も制限時間の中で、自分たちの部活動の魅力を十分に表現していました。1年生は、部活動見学などを通して興味をもって取り組める部活動を選んでください。

会の最後に、応援委員会の榎本さんが新入生に対して、体育館中に響き渡るエールを送ってくれました。新入生は、このような先輩の背中を見ながら、内にも外にも誇れる四中を創る一員になっていくのだと感じました。

どんな時でも真剣に、落ち着いて

今月13日（火）には、1回目の避難訓練を行いました。最近、局的豪雨による河川の氾濫や地震、森林火災など自然災害のニュースを目にする機会が多いと感じます。四中の場合は、地震の際の液状化による校舎と地面の段差や地割れ、大雨時の最上川・京田川の堤防の決壊による洪水などが想定されます。それらに、正しく対処し、命を守るためには、日常の備えが欠かせません。したがって、避難訓練は本当に災害が起きているという気持ちで取り組むことが大切です。



今回は、酒田地区広域行政組合消防署南分署の職員3名の皆様から訓練の様子を見ていただきながら実施しました。避難経路の確認も含んでの体育館への避難でしたが、生徒の取り組みはとても真剣で、私語もなく、非常にスムーズな行動でおもめの言葉をいただきました。

現在、学校では、「大規模災害時の学校での生徒引き渡しと個別避難場所の確認」を行っています。是非各ご家庭でもお子様と話をしながらご確認いただければと思います。

誇れる四中

1学期がスタートしてから、生徒はとても落ち着いて学習や生活に取り組んでいます。この落ち着きを生む源は、下の写真のような整理整頓なのだと思います。落ち着いた生活は、こういうちょっとしたことを面倒くさがらずに大切にするとところから始まります。「四中スタンダード」の一つです。



- ①サブバックの整頓
 - ②通学カバンとロッカーの整頓
 - ③学習室の机といすの整頓
- 整然としていて気持ちがいいですね。